

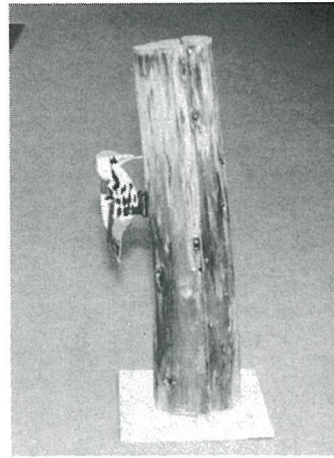
◎八咫地区科学工夫展  
「金賞」



5年2組

宮負 裕行くん

※丸太をくりぬいて、その中に光線リレースイッチを入れ、光でコントロールできるようにしました。



『おはようきつつき』



1年2組

林 あゆみさん

※ゴムをねじって、バレリーナがまわるようにしました。うまくおどりました。



『おどるバレリーナ』

◎八咫地区科学工夫展  
「特別賞」町教育委員会賞



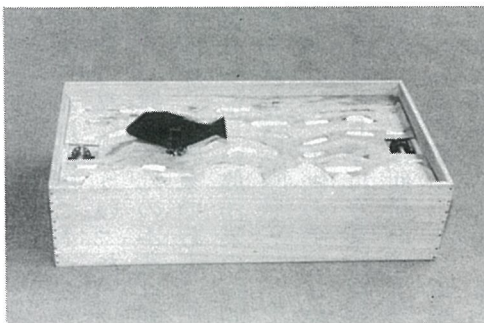
3年1組

錦郡 絵美さん

※くり山川が、きれいになったらいいなと思ってポスターを書きました。ことばがはつきりするように、工夫しました。



『くり山川をきれいに』



『こいのたきのぼり』



2年2組

照喜名 由希さん

※これは、こいのたきのぼりにみたくてた工作です。おさかながうまうごうように、がんばって作りました。

ひかり俳壇

稲妻や夕べの鐘の鳴り終る

土屋 好 (虫生)

静寂な農村の黄昏どきの情景を诗情ゆたかに詠んでいる。

稲びかり駆け込みすがる兎の鼓動

伊藤 幸枝 (尾垂六区)

一瞬の出来ごとを上手くまとめてある。座五が効果的。

稲妻の走りて闇の深まれり

伊藤 定男 (尾垂五区)

作者の寂寥感がなぜか共感を呼ぶ。

それだけのことよと畳む秋扇

鈴木 都根 (橋場)

扇子を畳んで一件落着、また明日といふことが、軽妙洒脱。

夜濯ぎの耳かたむける遠太鼓

布施 和代 (二又)

「耳かたむける遠太鼓」が主人公を盛り上げている。

〔短評 椎名しげる〕